

西日本ICTフォーラム2012開催 ～安心・安全でスマートな社会を創るICT技術交流～

◎はじめに

一般社団法人 情報通信エンジニアリング協会と情報通信関連3団体は共同で、去る9月12日（水）、13日（木）の2日間、大阪市中央区の「マイドームおおさか」2階展示会場において「西日本ICTフォーラム2012」を開催しました。

ここでは、9回目の開催となった同フォーラム開催の様相を紹介します。

同フォーラムは、「安心・安全でスマートな社会を創るICT技術交流」をテーマに据え、主催団体から

の参加会員企業とNTT西日本グループ各社様との交流を図りながら、情報通信市場の一層の発展に寄与することをねらいとしています。

主催は、一般社団法人 情報通信エンジニアリング協会（ITEA）のほか、一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、全国通信用機器材工業協同組合（全通協）、通信電線線材協会の情報通信関連4団体（後援：NTT西日本）。

オープニングは、情報通信ネットワーク産業協会 大木 一夫 専務理事が、主催者代表挨拶に立ち（写真1）、続いて来賓のNTT西日本 取締役 設備本部 ネットワーク部長 熊



写真1 情報通信ネットワーク産業協会 大木 一夫 専務理事による主催者代表挨拶

表1 出展者数

団体名	出展者数
一般社団法人 情報通信エンジニアリング協会（ITEA）	16
一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）	16
全国通信用機器材工業共同組合（全通協）	40
通信電線線材協会	13
NTTグループ	3
	88



写真2 テープカットによる開幕

情報通信エンジニアリング協会

本 敏彦 様とNTTネオメイト 代表取締役社長 戸谷 典嗣 様を交えてテープカットが執り行われ開幕となりました（写真2）。

◎出展内容

同フォーラムには、電気通信設備工事関連の開発物品や各種ソリューションなど計88社が出展（表1）。このうち、ITEA関連としては16社の出展がありました（表2）。

主な展示内容としては、安全・品質の向上を図った施工技術開発物品、各種VE提案開発物品、各社さまざまなソリューション提案などのほか、NTTネオメイト、NTTアドバンステクノロジーなどNTTグループ各社様からの出展（表3）もあり、多岐にわたる素晴らしい展示となりました（写真3～7）。



写真3 情報通信エンジニアリング協会による展示



写真4 情報通信ネットワーク産業協会による展示

表2 情報通信エンジニアリング協会会員会社 出展一覧（展示ブース順）

会社名	出展テーマ	出展内容
西部電気工業(株)	社会へ貢献する総合エンジニアリング企業へ	DSRCを利用した車両入退場管理ソリューションと、騒音対策・秘話保護を実現する製品を紹介。
日本電話施設(株)*1	すべてのお客様に感動していただくために	通信設備施工の安全・効率化を追求したツールとセキュリティ・介護等のNDS新規サービス事業の紹介。
大明(株)*2	ITエンジニアリング&サービス会社大明	スマホサイトの最適化ダイアフィット、スマホでマニュアル確認、写真データの仕分け効率化、避雷防止対策品を紹介。
(株)東電通*2	コンタクトセンター要員稼働コストを解決！	コンタクトセンター運用における要員稼働を最適化し、運用コスト削減を実現できるWFMを紹介。
(株)コミュニチュア*3	施工効率向上ソリューションをご提案！	施工効率向上に向けた施工物品（VE提案採用）を紹介。
北陸電話工事(株)	情報と通信の未来を創る！HOKUWA	オンライン生産管理システムの新機能のほか、通信と放送を融合したエリアワンセグシステム等を紹介。
日本コムシス(株)	BCPの観点から災害時の通信確保の御提案	災害時の通信確保を可能とする、太陽光発電と災害用通信PKGを一体化したシステムを紹介。
西日本システム建設(株)	情報社会を信頼の技術と高い品質で提供する	基盤設備・アクセス設備構築に向け、安全品質を考慮し、作業の効率化を図ったツールを紹介。
シーキューブ(株)	ユビキタス社会の構築に貢献する	光関連工事の施工における、安全・品質の確保および作業効率の向上を図るツールを紹介。
東日本システム建設(株)*4	先生の時間と心を子供達に返そう！	学校の基本情報を核とし、教務・学務・保健など学校業務にわたる総合型システムを紹介。
(株)NTEC	MMS活用による基盤設備図面の整備	移動計測車両測量システムによるNTT基盤設備図面（1/500）の作成について紹介。
日本電通(株)	NDKと技術 いつも時の向こうに！	最新の光アクセス工事にマッチした施工技術・品質向上開発物品を紹介。
四国通建(株)	確かな品質と安心、信頼をお届けします。	ネットワーク系作業の効率性、信頼性、安全性の向上を図ったツールを紹介。
(株)ソルコム	情報通信技術で夢をつなぐ	ネットワーク監視システム、クロージャ物品算出ツール、電柱穴掘削作業効率化ツールを紹介。
和興エンジニアリング(株)	「光」輝く未来へ技術で貢献します。	大容量リチウムイオン電池システムおよび、単心ファイバを簡単に4心一括融着接続できるツールの紹介。
(株)協和エクシオ	情報通信の未来を築く協和エクシオ	「トータルエンジニアリング」の力であらゆるコミュニケーションをつなぐエクシオソリューションを紹介。

*1：現 NDS株式会社 *2：現 (株)ミライト *3：現 (株)ミライト・テクノロジーズ *4：現 (株)TOSYS

表3 NTTグループ 出展一覧（展示ブース順）

会社名	出展テーマ	出展内容
NTTレンタル・エンジニアリング(株)	「購入（所有）」より「安い」「レンタル」	光から無線まで、工事・保守用の工具・測定器なら購入より安い「レンタルサービス」で。下取りも実施中。
NTTアドバンステクノロジー(株)	光時代の接続・工事の安心、安全、効率化を目指して	光時代の接続・工事作業の安全、安心、信頼性の向上と効率化をお手伝いする各種製品を展示・デモでご紹介します。
(株)NTTネオメイト	各種ソリューションや優良施策をご紹介！	各種ソリューションを始め、K A I Z E N活動の優良施策をご紹介します。

◎講演会など

フォーラム初日の12日（水）は、NTT西日本 代表取締役副社長の高島 宏一様による基調講演（写真8）と、NTTドコモ 常務執行役員 関西支社長 徳広 清志 様による特別講演（写真9）が行われました。2日目の13日（木）は、元読売テレビ・解説委員長、芦屋大学客員教授、(株)大阪総合研究所代表の辛坊 治郎 様（写真10）と、大阪ガス行動観察研究所所長、(株)エルネット技術顧問

松波 晴人 様による特別講演（写真11）が行われ、大勢の方が聴講に訪れました（表4）。

また、初日終了後には「シティブ

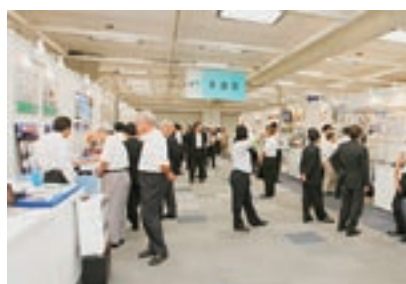


写真5 全国通信用機器材工業協同組合による展示

ラザ大阪」2階に会場を移し、NTTグループ幹部の方々との懇親会が開かれ、柴田 線材協会会長が主催者挨拶を、村尾NTT西日本代



写真6 通信電線線材協会による展示

表取締役社長がご来賓挨拶に立たれました（写真12）。懇親会は、賑やかに進み、NTTグループと情報通信関係各社とのより一層の協力関係を築く交流の場となりました。

◎おわりに

西日本ICTフォーラムは、NTTグループ各社の社員の方々とその関係者、出展者からの招待者を対象に2

日間にわたって開催。期間中、目標の1,700名を超える1,836名の方にご来場をいただき、盛況のうちに閉幕となりました。



写真7 NTTグループ会社による展示



写真8 NTT西日本代表取締役副社長高島 宏一様による基調講演



写真9 NTTドコモ常務執行役員関西支社長徳広 清志様による特別講演



写真10 元読売テレビ・解説委員長、芦屋大学客員教授、(株)大阪総合研究所代表辛坊 治郎様による特別講演



写真11 大阪ガス行動観察研究所所長、(株)エルネット技術顧問松波 晴人様による特別講演



写真12 NTT西日本代表取締役社長村尾 和俊様による懇親会での来賓挨拶

表4 講演一覧

9月12日（水）

	講演者	演題	講演概要
基調講演	西日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 高島 宏一 様	NTT西日本グループの 新たな一歩へ ～事業の初心～	東日本大震災（3.11）を機に日本が大きく変革する今、再編成後14年目を迎えたNTT西日本のこれまでの取組み、並びに“今”をさまざまな切り口から捉え直すとともに、事業の本質（初心）に立ち返り、“コミュニケーション”の深掘りにより今後の事業戦略の方向性についてお話されました。
特別講演	NTTドコモ 常務執行役員 関西支社長 徳広 清志 様	新たな成長に向けたド コモの取組み	1992年7月にNTTから分社して以降、20周年の節目を迎えるNTTドコモのこれまでの事業を振り返るとともに、新たな成長に向けた最近の取組みについてお話されました。

9月13日（木）

	講演者	演題	講演概要
特別講演	元読売テレビ・解説委員長 芦屋大学客員教授 (株)大阪総合研究所代表 辛坊 治郎 様	～情報の正しい判断～ 報道現場から	昨今の世界情勢から身近なニュースまで、わかりやすい実例を挙げて、情報の正しい判断についてお話されました。
特別講演	大阪ガス行動観察研究所所長 (株)エルネット技術顧問 松波 晴人 様	新たな気づきがサービ スを変える ～行動観察から見える 新たな気づき～	人の行動をつぶさに観察し、潜在ニーズやスキル、リスクなどを抽出する調査手法を「行動観察」と言います。これまで家庭や店頭、営業や接客などのサービス現場、オフィスなどあらゆる場を観察／分析し、成果を上げてきた行動観察の手法について述べるとともに、さまざまな事例を交え、行動観察が有効な分野と特徴について紹介されました。